

間接 1 について

総合コスト縮減率を構成する縮減項目のうち、建設資材・建設機械の技術開発や調達改革に伴う生産・流通コストの縮減効果（間接 1）については、他動的要素の影響（原油価格の高騰や国内外で鉄鋼等の需要増加など）が拡大していることから、現在の算定手法ではコスト増と評価されている。

1) 間接 1 の推移（対平成 14 年度）

	平成15年度	平成16年度	平成 17 年度	平成 18 年度
間接 1（平成 14 年度基準）	0.2%	-0.9%	-0.5%	-0.8%

2) 建設物価等の推移（対平成 14 年度）

		平成15年度	平成16年度	平成 17 年度	平成 18 年度
企業物価指数(国内)		△ 0.6%	0.8%	2.9%	5.9%
建設物価等の推移	建設資材	0.1%	5.5%	7.9%	13.3%
	建設機械	△ 3.6%	△ 3.8%	△ 5.2%	△ 5.2%
	労務単価	△ 3.8%	△ 6.5%	△ 9.0%	△ 10.2%
	加重平均	△ 1.4%	△ 0.1%	0.0%	1.6%
企業物価指数下落を除いた建設物価等の推移	建設資材	0.7%	4.7%	5.0%	7.4%
	建設機械	△ 3.0%	△ 4.6%	△ 8.1%	△ 11.1%
	加重平均	△ 0.2%	0.9%	0.5%	0.8%

注) 最下段の数値が、「間接 1」の実績（コスト縮減対策の対象となっていない労務単価の低減及び物価変動要因（企業物価指数の変動）を除いて推測したもの）

3) 総合コスト縮減率の推移（対平成 14 年度）

	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
総合コスト縮減率(間接 1 を含まない)	5.9%	8.2%	10.4%	12.3%
総合コスト縮減率(間接 1 を含む：昨年度まで公表ベース)	6.1%	7.3%	9.9%	11.5%

注) H9 年度～H14 年度の縮減率は、間接 1 を含んでいる。